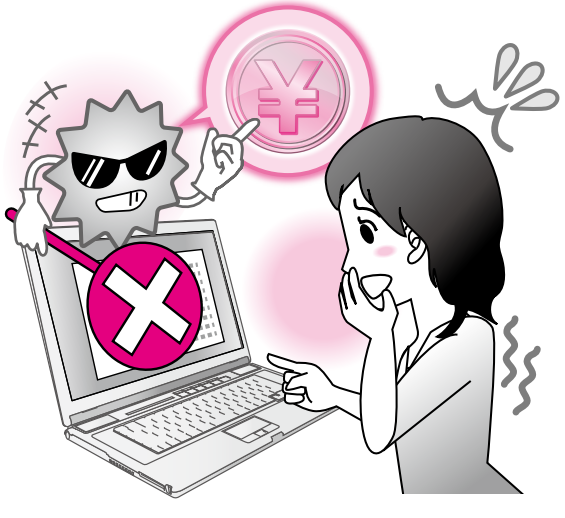
# 3-6 ファイルを人質にとるランサムウェア

## 事例6 ランサムウェアによる被害

Aさんは、日頃からネットショッピングを利用していました。ある日、Aさんのもとに、「あなたに、新しい請求書が届きました」という件名のメールが届きました。ネットショッピングで購入した商品についてのメールだろうと思ったAさんは、メールに添付されているファイルを開いてしまいました。
添付されていたファイルはAさんに全く関係のない内容だったので、不審に思いましたが、使用中のパソコンに特に異常はなかったので、メールの誤送信だろうと気にとめませんでした。
翌日、パソコンを起動すると、「あなたのパソコンをロックし、ファイルを暗号化しました。もとに戻すには3万円振り込んでください。」とメッセージが表示されました。ファイルを実際に開こうとすると、開けませんでした。
Aさんが調査した結果、ほかにも開けないファイルが多数存在しました。困ったAさんは3万円を振り込んでしまいました。
しかし、暗号化されたファイルが二度と開くことはありませんでした。

この事例の要因として、不審なメールに対して確認を行わずに、添付ファイルを開いてしまったことがあげられます。



解説

## ランサムウェア

「ランサムウェア」とは、パソコンに保存されているファイルを暗号化し、開けない状態にしてしまう不正プログラムのことです。ファイルを暗号化したあと、暗号化したファイルを復元する為の金銭を要求するメッセージが表示されます。しかし、金銭を支払っても、復元できる保証はありません。
このようにウイルスが身代金を要求している様子から「身代金要求型ウイルス」とも呼ばれています。
ランサムウェアはパソコンだけに限らず、スマートフォンでも被害が広がりつつありますので、しっかりとセキュリティ対策をする必要があります。

## ランサムウェアのセキュリティ対策

ランサムウェアはメールやWebサイトからの感染が主な経路です。
ランサムウェアに感染し、暗号化されてしまったファイルの復元は困難な為、次のようなセキュリティ対策を行い、ランサムウェアに感染しないようにすることが重要です。

- ウイルス対策ソフトを導入する。
- ウイルス対策ソフトは最新の状態にアップデートする。
- メールの添付ファイルのウイルス検出とスパム対策を行う。
- 定期的にファイルのバックアップを取る。

など

**チェック**

□ 不審なメールの添付ファイルは開かないようにしましょう。
□ 少しでも不審なことがあれば、セキュリティ管理者に問い合わせましょう。